万物馥郁たる春の訪れ、躍動感に満ち溢れる此の頃、皆様におかれましては、

益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、有識者の皆様へお願いです。「2020年東京オリンピックをどうあるべきか？」

首相、都知事、オリンピック関係者に提言書をまとめる予定です。皆様の貴重なご意見をお寄せください（締切：3月13日）。提言書をまとめるにあたり、参考にさせていただきます。また3月一杯まとめのための少人数の会合を何度か持ちますが、参加ご希望の方はご連絡ください。できるだけ各位のご意見を反映する予定です。

先日のフォーラムのメモはいま校正中であり、来週初めにはブロードバンド、You Tube ,

DVDで公開の準備をしています。地球機構、未来構想のサイトにもアップする予定です。<http://www.owaki.info/olympic/20160227.html>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

以下、去る2月27日（土）「オリンピックのビジョンを語る」本年第2回目のフォーラムの皆様のご意見を頂くためのラフな大脇の個人的感想です。ご笑納賜れば光栄です。

2020年東京オリンピックに対してフォーラム参加者の発言は大変厳しいものでした。1964年と比べて「なぜ盛り上がりが無いのか？」時代環境の違いに加え、お金優先のものの考え方、過剰な国威発揚、オリンピックに勝つためだけのいびつなスポーツ選手養成、オリンピックのビジネスショウ化（特にロス大会以降その傾向が顕著である）等、問題がある。オリンピック憲章、クーベルタンの平和精神、世界市民主義の基本精神に戻り、文化性に焦点をもっと当てるべきである。

2020年東京オリンピックは、日本文化に対する理解を深める機会とすることが提案された。全国各都市、町村でイベントを開催、来日客を「おもてなし」する。多くの観光客に魅力ある日本を伝え、日本に移民を考える絶好のチャンスとする。また韓国、中国等、近隣諸国を誘い芸術（舞台演劇、映画等）を通じて協働で東アジア文化を体験する機会を提供すること。総じて今回のオリンピックを文明の大転換点と位置づけ、近代合理主義、グローバリゼーションで見失われつつかにある東アジアの伝統文化を体験してもらうこと通じて、生きがいと潤い、安心感に満ちた社会への大転換を図ることが大切である　との結論であった。国立競技場を壊し代々木の森林伐採する金のかかる近代化手法よりは、節約する中で古きを生かす日本的伝統もあることを世界に知らせるよい機会ではないか？オリンピックのだめだけに開発工事をし、オリンピックが終われば元の公園に戻すというような一過性の無駄な企画は再検討すべきではないか。

オリンピック全体の企画を通じて、「もったいない」、「お蔭様で」、「ありがとうござます」といった言葉の背後に潜む日本文化（東アジア文化）を理解してもらう絶好の機会としたい。

2020年東京オリンピックは近代化で走り続けた文明から、人間らしい文明への大転換点であったと歴史に記憶される歴史的大事業とすべきである。

今回、特に小生の最も感動したエビソードは、野田一夫先生の生き様から学んだことである。先生のお父さんはゼロ戦戦闘機の設計責任者であった。そのお父さんから「いつも裏表のない正直な人間であれ」と厳しく薫陶を受けた。「あの世に行って一番会いたいのは父親である。会って、お父さん、お父さんのおっしゃったように生きて来ましたと言いたい。」この言葉こそ豊かで便利で忙しい現代社会の中に、見失われつつある珠玉の言葉であると思う。自分を誇り、俺が俺がで築いた近代文明は所詮、命のパイプを断られた切り花文明に過ぎない。命は親から与えられたもの、父子の関係、親への孝こそ人の生きる原点、東アジアにはその伝統がまだ生きている。

2016年3月5日

　　　　　　　　　　　未来構想フォーラム事務局　大脇準一郎　　拝